以上述フルカ如クナルヲ以テ予ハ鼻腔灌注器使用ニ就テノ注意ハ左ノ諸件ヲ必要ナリト信セリ

第一使用中嚥下運動ヲ嚴禁スルコト

蓋シ嚥下運動ハ口蓋張筋口蓋舉筋緊張シテ歐氏管ノ咽頭孔開大シ恰モポリセル氏通氣法ト同一ノ理ニ由テ液ヲ歐管ニ竄入シ易カラシム

第二レーウ^エンベルグ氏ノ法ニ從フ事

第三頭部ヲ適宜ノ位置ニ保持スル事

第四左右鼻腔ノ内最モ流通困難ナル方ヨリ灌注スルコト

右ノ諸件ニ注意シテ小心翼翼々タルトキハ該器使用ニ依ル弊害ヲ除クヲ得唯其効ヲノミ收ムルヲ得ヘシ未タ以テ該器使用ヲ廢スニ忍ビザルナリ

鼻咽喉病ニ二三ノ新礬土和合物ノ應用ニ就テ

伯林鼻咽喉科學會ニテ

助教授「ドクトル」ペー、ハイマン述

「ドクトル」金杉英五郎譯

Ueber die Anwendung einiger neuer Aluminiumverbindungen in

Nase und Hals von Dr. P. Heymann in Berlin

(Uebersetzt von Dr. H. E. Kanasugi in Tokio)

諸君！此種々ノ礬土和合物ハヨット、デー、リーデル氏 J. D. Riedel ノ製造所ニ在ル尙年若キ化學者「ドクトル」アルトシユール氏 Dr. Altschul ノ憤勵ニ依テ成ル所ノ者ニシテ吾人ハ深ク此發明者ニ向テ謝セサル可ラス

抑鼻腔ハ今日迄應用セル處ノ種々ノ收斂藥、腐蝕藥等ハ之ヲ用キルニ當リテ頗ル困難ナル場所タルヲハ諸君ノ既ニ了知セラル、所ニシテ日常吾人ノ實驗スル處ナリ例之ハ單尼寧ハ強キ局處刺戟アリテ適當ナラス其他好ンテ用キラレタル處ノ多クノ鑛物鹽類、明礬亞鉛成形物等ノ物質ハ其臭氣ヲ忌ミ或ハ其他ノ種々ノ關係ノ爲メニ用キル能ハサルヲ頗ル多シ當時尙ホ稍、用ヲ存スル者ハ硼酸及ヒ種々ノ度ヨリ成ル硝酸銀シエツフェル氏 Schäffer ノ稱用ス

ル醋酒石酸礬土 Aluminium acetico-tartaricum 等ナリ

醋酒石礬土モ同シク之レ礬土和合物ナレ其臭氣通常ノ明礬ニ比シテ大差アルヲ見ス「ドクトル」アルトシュール氏ノ力ヲ用キシ處ハ此不快ナル臭氣ヲ消失セシメシニ在リ而シテ氏ハ全ク不快ノ臭氣ナキ三箇ノ礬土和合物ヲ製出セシナリ即チ

(1) 撒里失兒酸礬土 Aluminiumsalicylat

一名「サルミン」, Salumin

(2) 單寧酸礬土 Aluminiumtannat

一名「タンナール」, Tannal

(3) 沒食子酸礬土 Aluminiumgallat

一名「ガルラール」, Gallal

是レナリ

予ハ以上ノ三製劑ヲ鼻咽喉ノ疾病ニ應用セリ

予カ第一ノ撒里失兒酸礬土ヲ用キシハ其和合物ナル撒里失兒酸ノ能ク殺菌ノ効ヲ奏シ之ニ加フルニ礬土鹽類ノ効ヲ以テスルト云フ考ニテアリシナリ此成形物ハ今ヤヨツト「デ、リーデル」氏手廣ク之ヲ製出シ之ヲ「サルミン」ト名ヅケタリ水及ヒ「アルコホル」ニ不溶解ニシテ「アルカリ」ニ容易ニ溶解ス抑髄液ハ

多クハ多少ノ「アルカリ」性ナルヲ以テ其溶解ヲ補助ス可シト説明スルヲ得ヘシ

「サルミン」ハ「アンモニヤ」ト結合スルキハ水或ハ「グリセリン」ニ溶解スル中和性ノ重複鹽類ヲ形成ス其水或ハ「グリセリン」ニ溶解シテ成リタル重複鹽酸即チ溶解性「サルミン」, *Saluminium soluble* ハ著シキ收斂作用ヲ有スル者ニシテ加フルニ甚シク粘膜ヲ刺戟スルヲ其他ノ撒里失兒酸和合物ノ如シ鼻及ヒ咽腔ノ乾性炎症ニ對シテ殊ニ適當ナリトス

予ハ多クノ患者ニ向テ頗ル良効ノ成績ヲ得タリ

乾性ノ難溶性「サルミン」, *Saluminium insoluble* ハ「オゼナ」等ニ向テ分泌ヲ亢進スルノ力殊ニ強盛ニシテ痂皮ヲ溶解シ鼻腔内ヲ清淨ナラシムル者ナリ予ハ咽頭ニ對シテハ偏里設林溶液ヲ塗布スルノ方法ヲ行ヒ之ニ依テ乾性咽頭炎症ニ効ヲ奏セシヲ屢々ナリ

第二即チ「タンナール」ハ頗ル多ク之ヲ用井タリ此和合物ハ化學家一己ノ思考ヨリ成リテ作りタル者ニソ有力ノ收斂藥ナリトス其單寧ニ勝ル所ハ刺戟少

ナク異臭ナク能ク鼻腔内ニ應用スルニ適スルニ在リ

「タンナール」ハ「アンモニア」ニ溶解セス又水「アルコホル」ニ不溶解ノ状態ハ「サルミ
ン」ニ於ケルカ如シ併シナカラ其重複鹽類即チ單寧酒石礬土又可溶性「タンナ
ール」ト稱スル者ヲ形成スルヲ得可シソハ容易ニ溶解シ種々ノ場合ニ於テ
用キルニ便宜ナリトス

予ハ此和合物ヲ鼻咽喉ノ種々ノ加答兒ニ單味或ハ他ノ藥物ニ和シテ吹入藥
トナシ或ハ水若クハ「グリセリン」ニ溶解シテ塗布シ愉快ナル良成績ヲ得タリ
殊ニ著効アルハ此藥物ノ溶液ヲ以テ含嗽セシメ或ハ吸入セシムルニ在リ諸
君若シ一タヒ之ヲ應用セハ今日迄單寧若クハ明礬ヲ以テ含嗽セシメ置キタ
ル患者ノ不幸ヲ回顧スルヲ予ガ如クナル可キヲ信ズルナリ

又單寧及ヒ明礬ノ不快ナル味ニ比シテ別ニ忌ム可キノ味ナク予カ患者等ハ
敢テ其味ノ不良ナルヲ訴ヘシ者ナシ否好ンテ之ヲ用キタリ然リ而シテ其收斂
ノ作用ニ至リテハ更ニ著シキ者ナリト云フノ外ナシ

第三ノ沒食子酸礬土ノ成形ニ至リテハ今日迄未タ明カナラス併ナカラ「サル

ミン」ノ如ク「アンモニア」性重複鹽類トナシ溶解性トナスヲ得ヘシ只異ナル處ハ此和合物ヨリ成ル處ノ「アンモニア」成形物ハ甚タ美麗ナル小板狀光澤アル「プレバライト」トナルナリ

此和合物モ亦弱キ收斂作用ヲ有シ且ツ用井易シ併ナカラ其主治効用ニ至リテハ未タ公言シ難シ

「サルミン」ノ制腐作用ニ就テハ當時猶研究中ニシテ完成セサルナリ

譯者曰ク鼻及ヒ喉頭ニ用井ル收斂藥ニ就テ常ニ憂フル處ノ者ハ眞ニハイマン氏ト同說ナリ然リ而シテ「サルミン」「タンナール」等ハ果シテハイマン氏ノ所說ノ如クナレハ其効ヤ著大ナリト云フ可シ